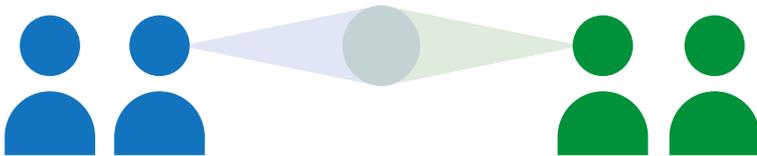




① 思い込みをすてること

② 視点の交換（対話）により共感すること

思い込みをすてること



③ 協同労働という働き方



働くが多様になっている
地域づくりを仕事にする法人格
地域で小さく始める

労働者協同組合

支援するではなく
本人たちが支援しあう
一緒に労働する
>組合員が OK ならそれで良い

応援経済

はたらくを変えることで
わたしと家族のウェルビーイングが UP

④ はたらくをつくる

心身障害があってもそこに行くだけで
元気になれる、やる気につながる
そこに行くことが仕事だと話し合いで決められる
高齢者、障害者にとっても働ける



同質性の高いところではイノベーション（新結合）はおきにくい



イノベーション・創発が起きやすい場づくり

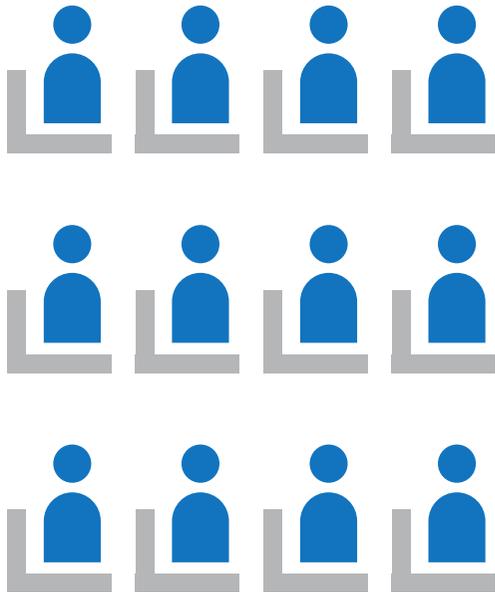


越境、あいだをつなぐ のりしろ



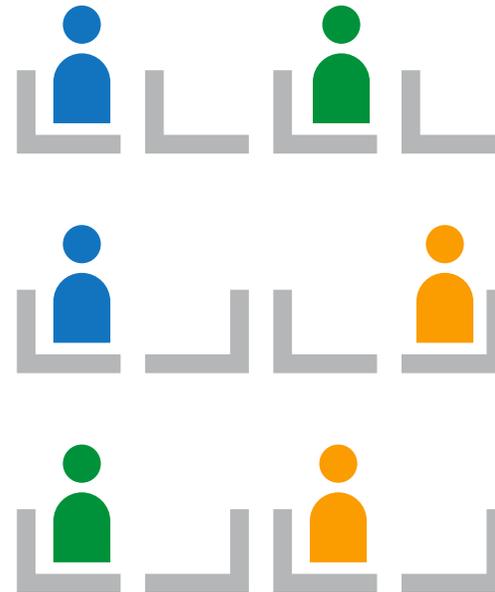
人口増加社会

戦う、競う、強制する



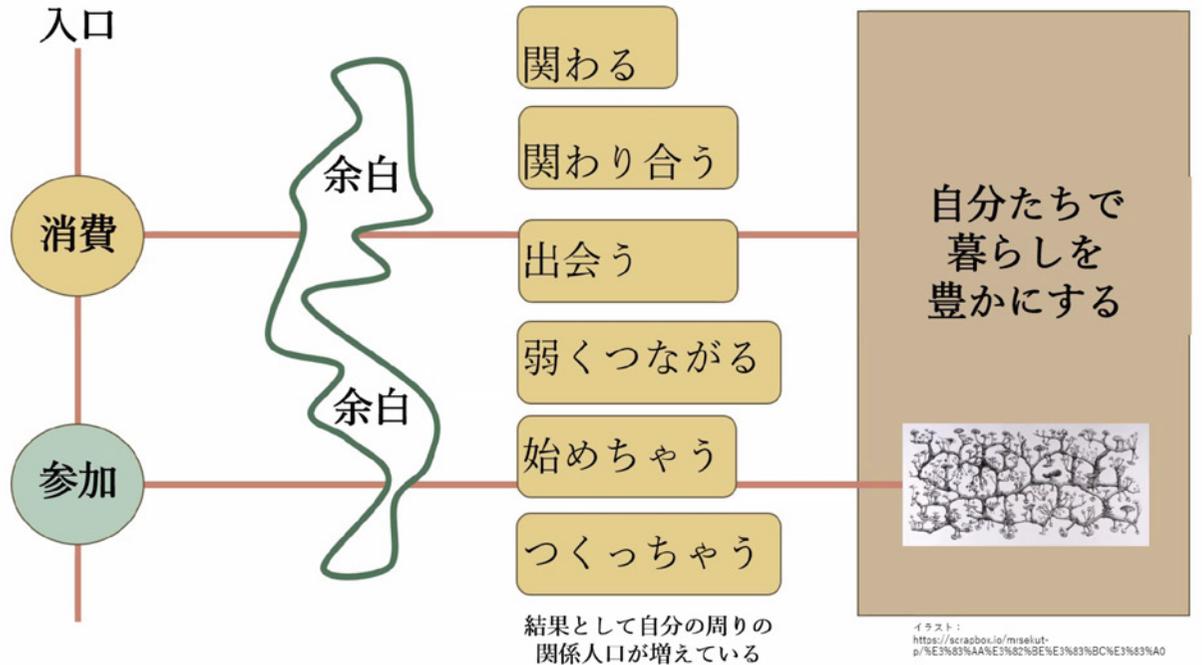
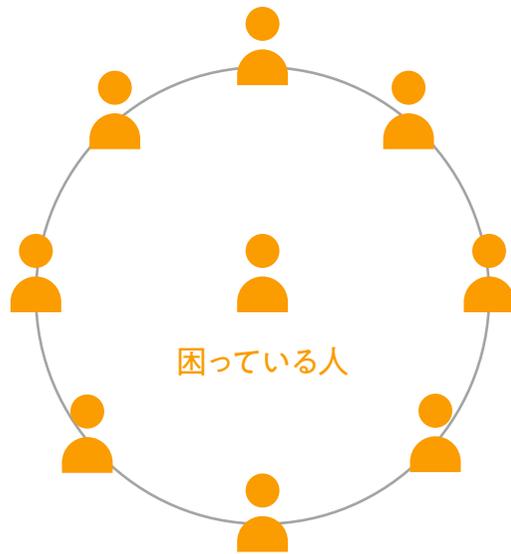
人口減少社会

共生社会・境界があいまい
自在・越境する人材





よくあるパターン



良い地域づくり＝結果的に関係人口が増えていく、なんとかなると思える、自分たちで暮らしを豊かにできている

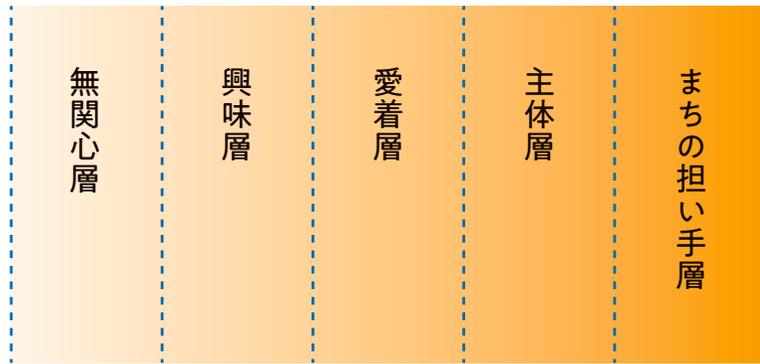
くらしを主体的にする



まちでの活動量

少

多



結果的に増えていく



産後の孤立感
相談しようと思わない



保健師の家庭訪問



幅広い年齢の支援者、当事者と
知り合い、学び合う

視野が広がり元気づけられる

こまちぷらすの設立へ





地域共生社会の研修

声のデータベース
がきっかけに

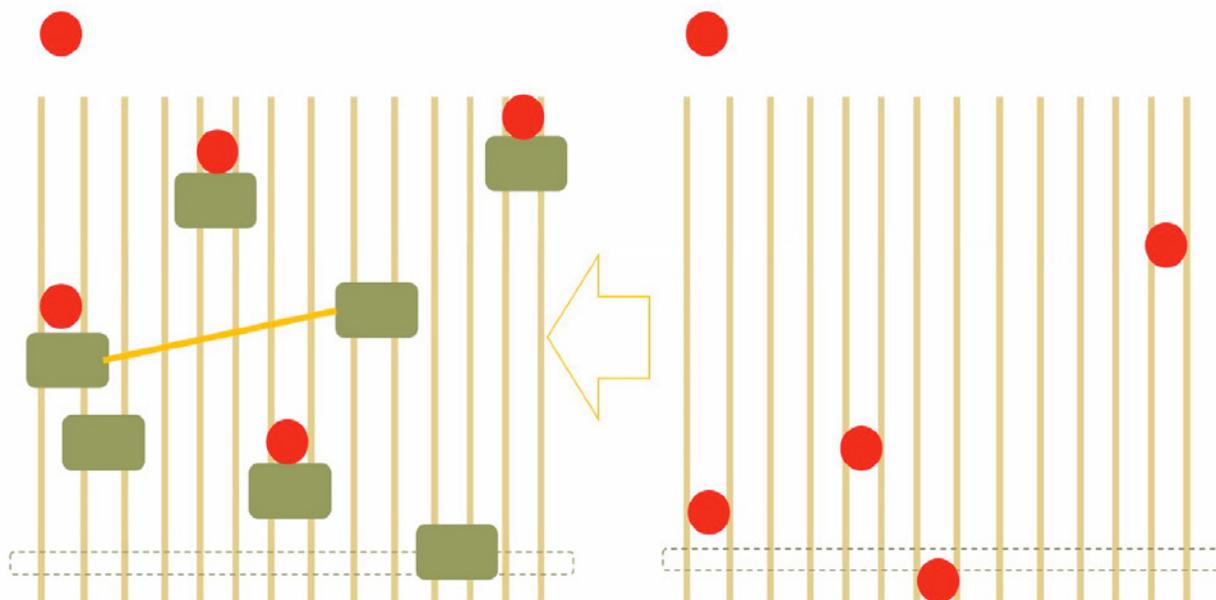
つめたい空気をかえる
行政のしごとなのか？

ものを動かすことで
つめたい空気を変える

とつか背守り会
出産祝いに関わる

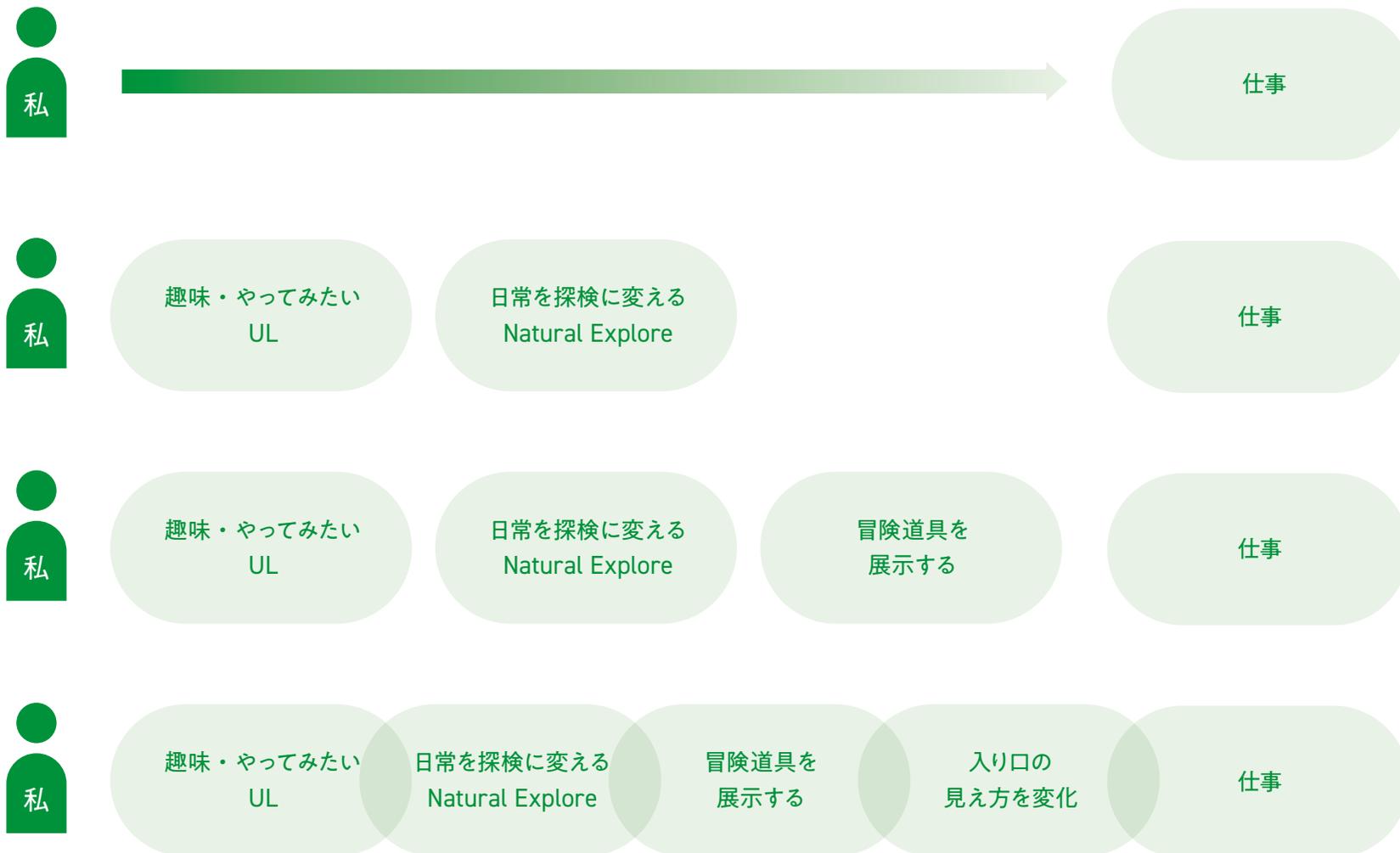
ヤマト運輸
地元タクシー
地元商店

制度・サービスの「間（はざま）」に「なんとかなるクッション」





私 と 地域づくり



私の趣味、興味から人が出会い繋がっていく



地域共生社会の研修

問1

氷見市：松崎さんへ アイディアをだす 組織内の理解をどう得ているのか
共感、合意形成からは難しい 小さく始める 1広報からスタートする 今はチーム11人 理解を得ている

問2

氷見市：松崎さんへ デザイナー 業務委託費用はどこから？
重層で業務委託 1年間 デザイナー 他休眠預金でも

問3

市貝町：前神さんへ 労働者協同組合では個人が自立するまでできるのか 非営利／3人いれば
収益あげないといけない 自分たちがどう収益をあげるかは考える 副業スタートから割合を変化

問4

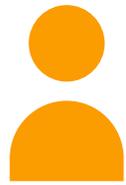
塩尻市：松崎さんへ 社協事業とコミュニティデザインラボとの関係性は何ですか？→社協内のひとつの事業
自治会との関係性はいかがですか？→社協と自治会は関係性よし テーマ型は興味のあるひとつと



地域共生社会の研修

問1 地域の中でやりたいことがあるひとをどう見つけていくのか

困った声をひろう／地域の関心事を深掘りする／やってくれるひとを見つける



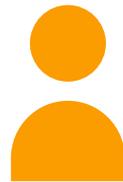
やりたい人

できる気がしない
やりたいことがぼんやりしている
表現できない
タネはあるが表出させ方がわからない



言葉にする機会
をつくる

対象や制限を設けないこと
エリアもあいまいに



声をあげた人

声を大事にする



受け止める人

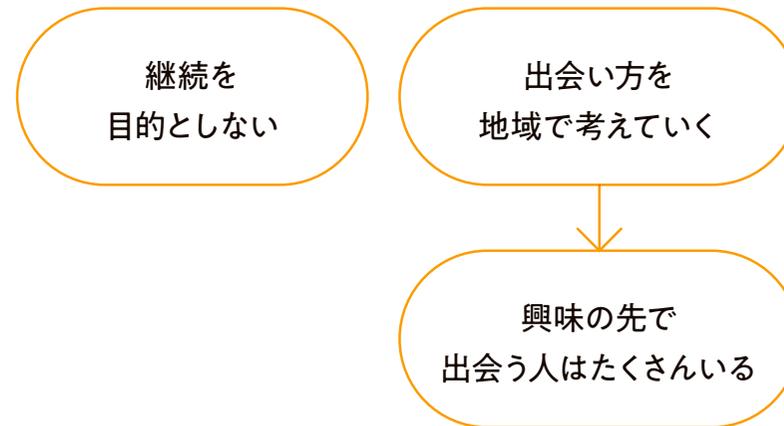


問2 関わる人を増やすには？



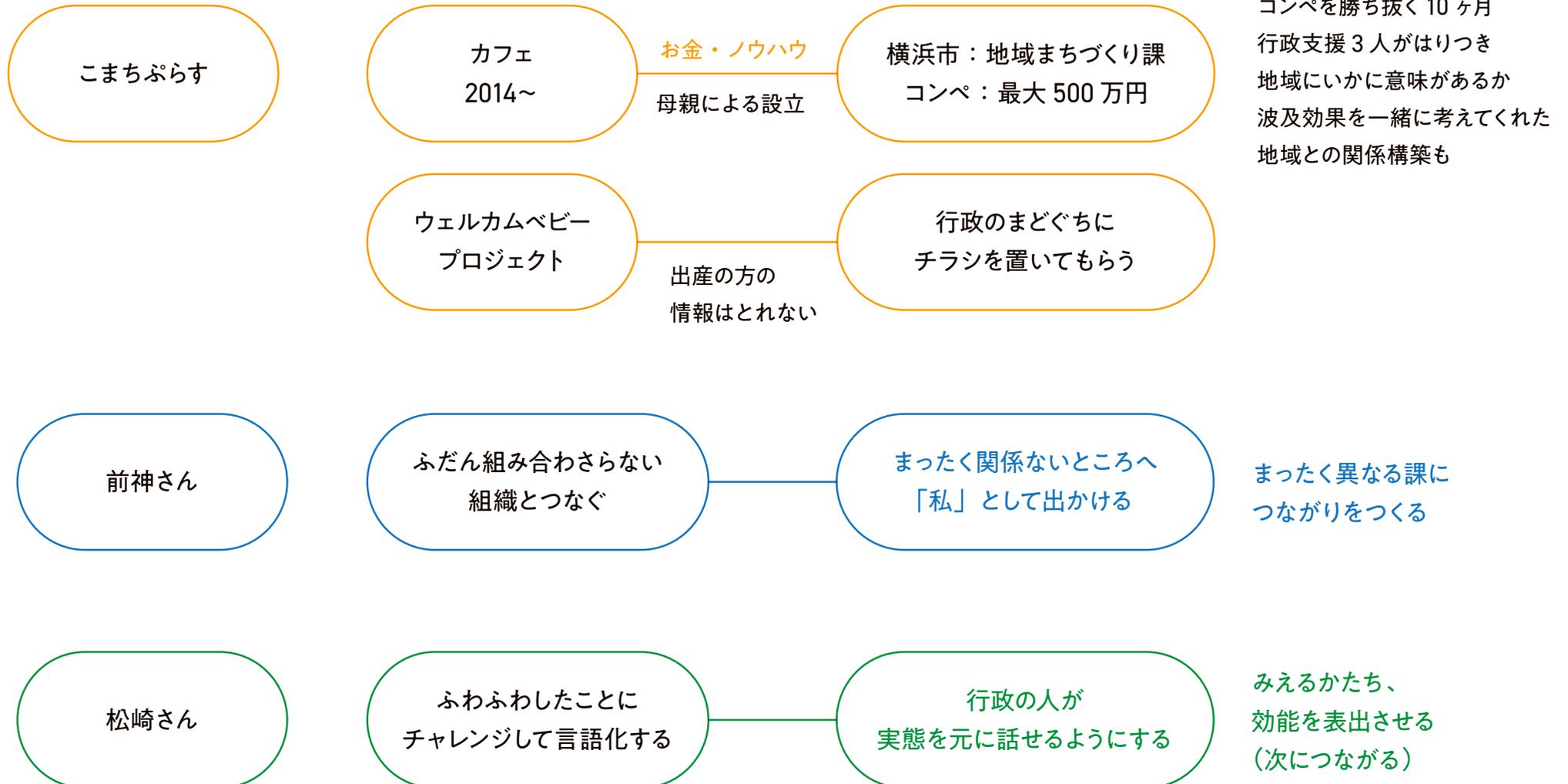
立ち上げた場

困りごと：
継続しない
人があつまらない



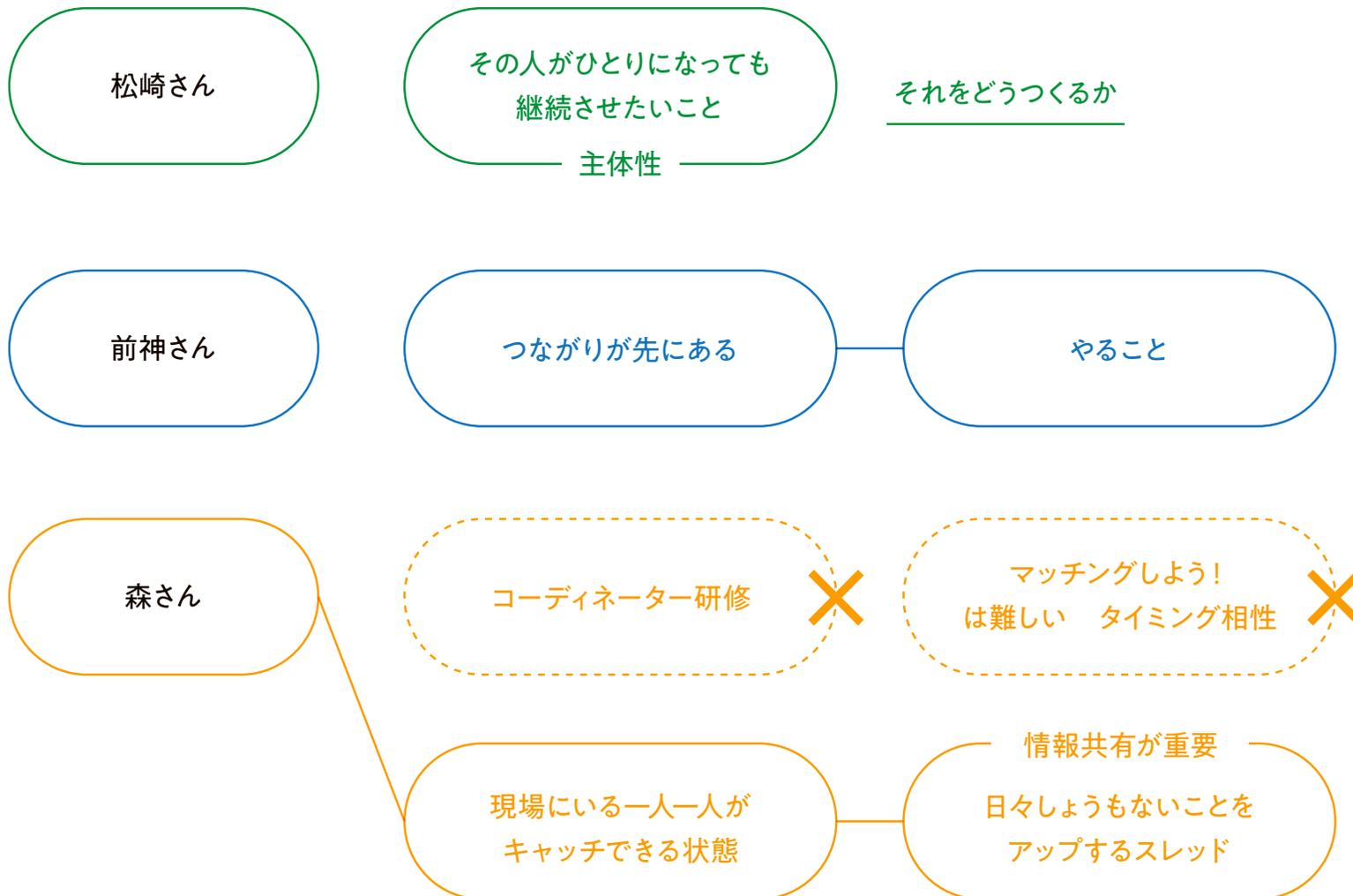


問3 ゲストのみなさんは行政機関関係者とはどのように関わっているのか





問4 これが起きるであろう そこまでどうするのか 土壌をつくること 場の継続は目的でない



生産性・効率性を地域づくりに持ち込まない

地域のこまやかな情報を共有する

すぐに結果を出そうとしない



地域共生社会の研修

問5 ターゲット層等（例：高齢男性）を意識されて居場所・参加支援を作った事例はありますか。

松崎さん

「高齢者男性の集い」
にはしない

例「買い物」くらしの動線上
につないでいく

- ・制度の対象にしか資金が降りない
- ・支援（対象者）と交流（誰もがこれる）の2階建 構造=協同せざるをえない

前神さん

場をつくらない

雨がふったら
パチンコにいくおじさん

できることを
頼みにいく

福祉とは「給付管理」と応える人がいた
制度化したものが福祉ではなく「くらし」だ
移住の人は「仲間がいるところ」
ウェルビーイングを設計したい

福祉マインドを別のフィールドで生かすこと

森さん

ひきこもりの人の場

場の設計の前に
親向けの会

- ・時間帯を考える
 - ・親が安心してから子供も安心する
 - ・何もしなくてもいい
 - ・しつらえも大事
 - ・プログラム化しない
 - ・靴をぬげる場所
- 参加支援をつくった事例
ターゲット層は邪魔である
それ以外の面を大事に

プログラム化した「場」に呼ばない

「支援」と「誰でも」どちらも大事

福祉は制度ではなく暮らしである

支援以外の面に目をむける



すぐに結果を出そうとしない

地域のこまやかな情報を共有する

生産性・効率性を地域づくりに持ち込まない

支援以外の面に目をむける

福祉は制度ではなく暮らしである

「支援」と「誰でも」どちらも大事

プログラム化した「場」に呼ばない

暮らしをつくるためには協同が必要である

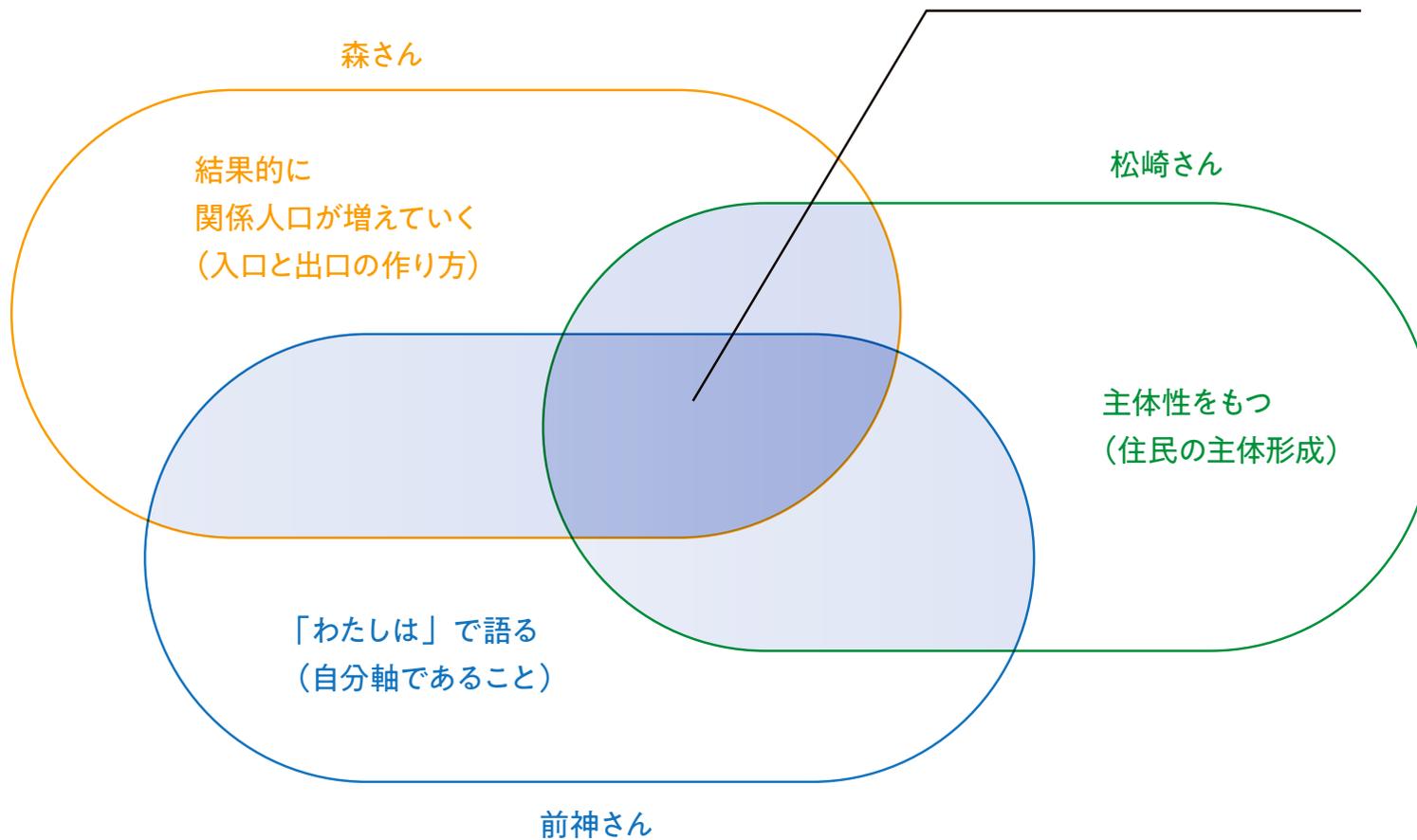
主体性をもつこと・内発性・「私は」



地域共生社会の研修

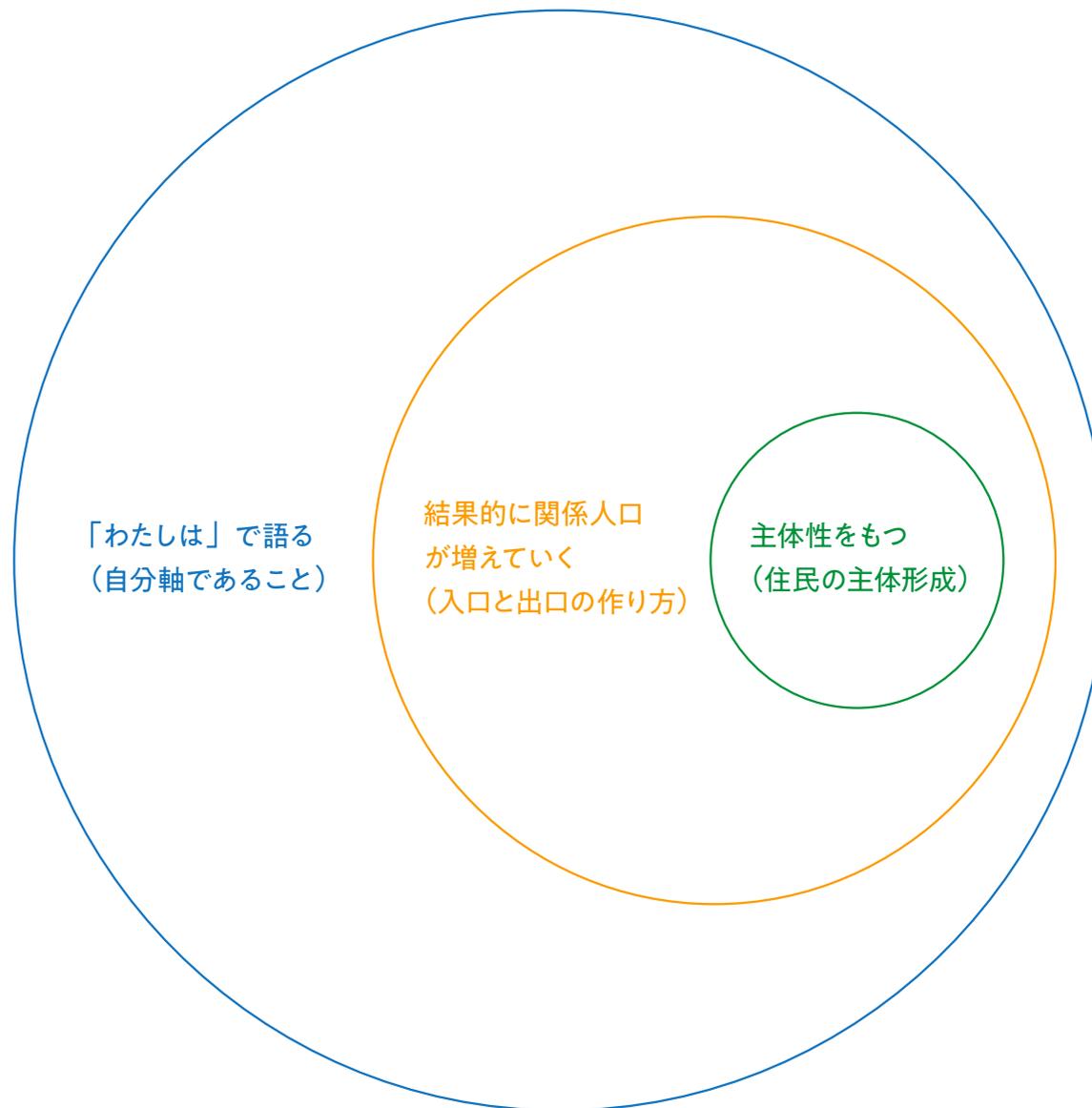
重層の視点でみた地域づくりに
大切だと考えているもの

越境すること
本人主体であること
自分たちの暮らしをつくっていく





重層の視点でみた地域づくりに
大切だと考えているもの





令和6年度重層的支援体制整備事業人材養成研修

地域共生社会の研修